明るく健康な生徒　正しい判断力をもち主体的に学び行動する生徒　豊かな情操をもち品位ある生徒

石神井中だより

練馬区立石神井中学校
校長　櫻井　弘
令和４年９月１日
第５号

考え・意見をもつこと

校長　櫻井　弘

２学期が始まりました。コロナ感染はまだ収束とはならいようですが、ウィズコロナの中で自他の健康に気を付けて過ごしていきましょう。

さて皆さんは、この夏休みをどう過ごしたでしょうか。普段より少し時間的に余裕があったと思います。私もいつもより読書の時間が多くあり、いろいろなジャンルの本を読むことができました。その中から、皆さんの参考になるかもしれないと感じたことを紹介します。

本のタイトルは「自分の意見で生きていこう　著者ちきりん」です。本のタイトルから分かるように自分の意見をもつことは大切で、自分の意見をもつにはどういう風に考えていけばいいのかということについて、著者の考えや経験が述べられています。日々いろいろな問題がありますが、その問題には「正解がある」のか「正解がない」のかという切り口から始まります。「正解のある問題」には、結果として「正答」と「誤答」があり、その答えを得るためにはとにかく「調べる」ことで解決できる。しかし、「正解のない問題」には、結果として「意見」しかなく、その意見には「正しい意見」も「間違った意見」もなくて、「私の意見」や「〇〇さんの意見」など意見を出してくれた人の「意見がある」ということなのです。そして、自分の意見をもつことができるようにするためには、とにかく「考える」ことが必要という序論からはじまり、分かりやすい例を取り上げながら話が展開されるとともに深められていきます。

「正解のない問題」として皆さんの身近なことを例にとると、例えば、３年生は、中学校卒業後の進路を選択していきますが、この問題は正解があるのでしょうか。進路に関してのいろいろな考え方や、同じことを経験した先輩の体験、親の思いなどがあることは想像できますが、どの選択肢を選んでも「誤答」ということはないと思います。自分はどう考えるかが大切なのです。そして、自分の意見をもつために、情報を集め分析することは大切ですが、情報に振り回されていたり、たくさんの情報を集めたことで安心していたりするのも違います。そこから「自分の意見」をもつためにしっかり「考える」ことをしなければなりません。この考えが志望動機や、将来のビジョンに結びついていくのだと思います。皆さん考えること、そして、自分の意見をもつことを大切にしていきましょう。

来週５日（月）から３年生は修学旅行に２泊３日ででかけます。昨年度は、緊急事態宣言等の影響で時期をずらしＩ泊２日(京都)での実施でしたので、事前学習や事後学習で成果を残すというより、何とか宿泊行事が実施できたという感想でした。今年の３年生は、ウィズコロナではありますが、事前学習で計画したことを生かしての実施です。次年度以降の後輩たちのために、事後学習も含め成果を残してほしいと願っています。また、修学旅行だけでなく、その後の合唱コンクール、Ｉ組の８校合同文化発表会、普段の学校生活も皆さんが主体的に関わることで、アフターコロナに向けての新たなスタートとできるようにしていきましょう。

保護者の皆様には、今後も引き続き健康管理へのご協力をお願いいたします。